



青少年教育施設における DXの推進及び ユニバーサルデザインの在り方

尼崎市立美方高原自然の家
所長 西垣幸造



講義の全体

- | | |
|-------------|--|
| 9:00～9:30 | とちのき村のDX推進・ユニバーサルデザイン(UD)状況 |
| 9:30～9:40 | グループづくり(DX推進関係、UD関係)
※興味のあるキーワードで、各グループ7～8人程度 |
| 9:40～9:50 | 休憩 |
| 9:50～10:50 | グループワーク
DX推進とUDの在り方の現状と今後について |
| 10:50～11:00 | 休憩 |
| 11:00～11:55 | 全体発表 各自10分程度 |
| 11:55～12:00 | これからについて |



OUTWARD BOUND
JAPAN

尼崎市立美方高原自然の家について

- ・尼崎市立全41小学校の自然学校推進事業(5年生の4泊5日)等の受入と支援

課題

- ・尼崎市教育委員会と連携し、エビデンスをもって運営改善や開発を行う。

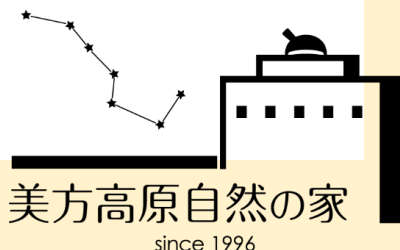
ISO9001(自然学校支援)

- ・DX推進、GIGAスクールと連動して運営(自然の家の支援在り方)

打開策(つながり支援をもとめる、支援をうける、動き出す)

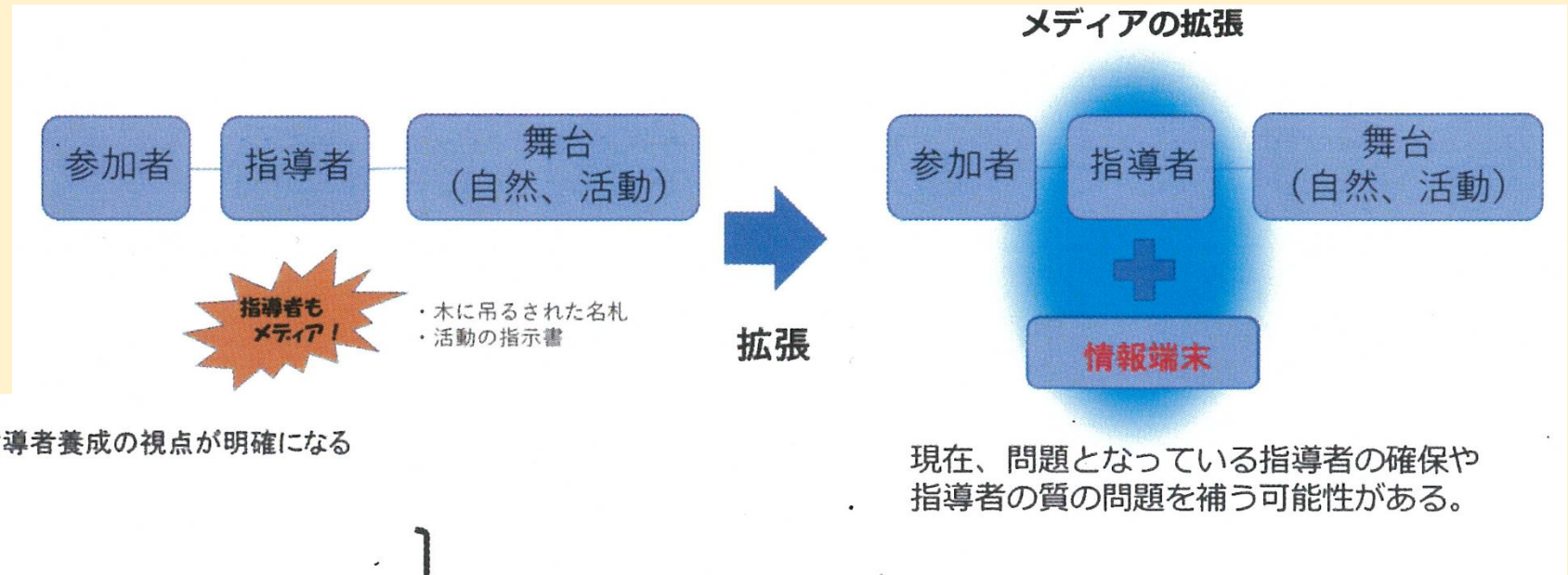
関西学院大学等との共同研究

自然の家単独の力では、課題解決はできない。(調査分析力・DXへの技術力など)

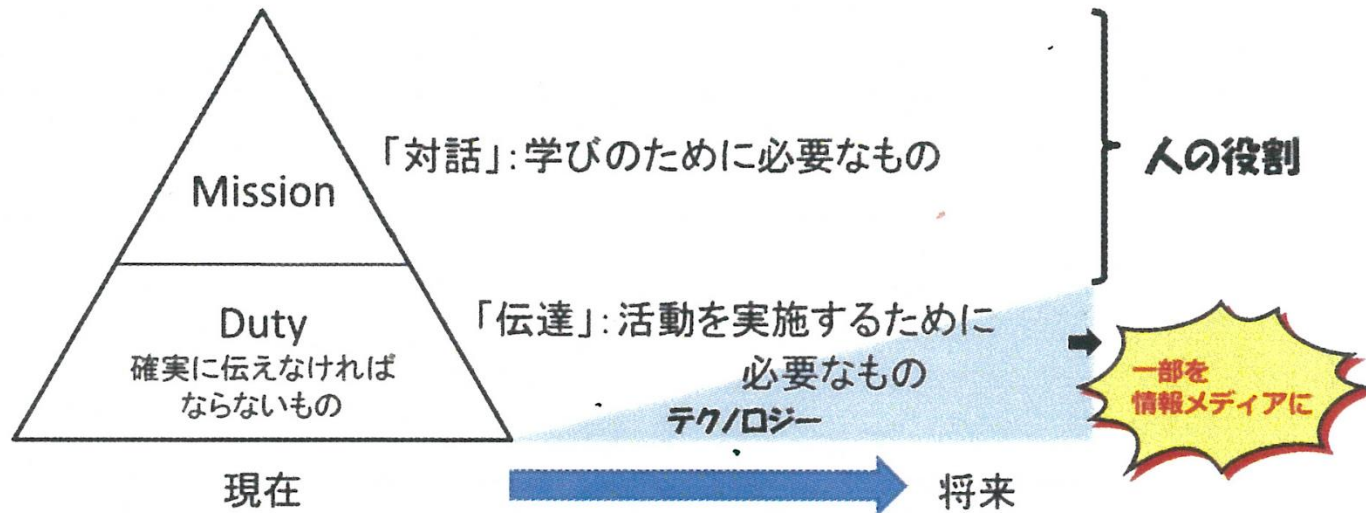




デジタル技術で支援する基本的な考え方



指導者の役割の明確化 ← 指導者養成の視点が明確になる





DX推進

2020年度 共同研究準備期間:iPad40台、WIFI整備

業務におけるGoogleドライブやZOOMの活用

2021年度 野外教育アプリの提供と影響調査開始

2022年度 ARネイチャーラリー英語・社会科バージョン(教科連携)カレーライスづくりアプリ

IKR調査の実施(尼崎市立全41小学校 小学5年生3,469人)

常陸大宮市立大賀小学校ARネイチャーラリー防災教育バージョン

文部科学省 コロナ禍でも安心安全自然体験ガイドブックにて、「ICTの活用や新たな自然体験活動の取組状況」として紹介

2023年度 HMD及び遠隔カメラを用いた遠隔体験の創出およびメタバース空間での体験創出に関する研究

企業連携:東京コンピュータサービス株式会社

大学の卒業研究との連携調査協力3件 (関西学院大学2件、大阪体育大学1件)

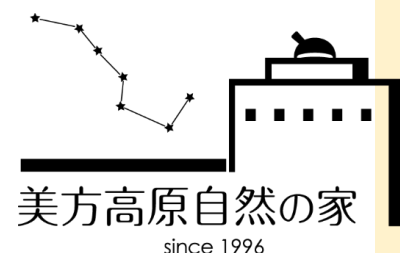
プラトーこのはな ARネイチャーラリー提供

文部科学省(調査検討委員協力と活動の紹介)

令和4年度青少年の体験活動の推進に関する調査研究「自然体験を深めるデジタル技術の使い方事例集」「体験活動の質を高めるためのデジタル技術活用に関する調査研究」

各野外教育事業大会での実践事例・研究発表

野外教育学会大会、日本キャンプミーティング、関西野外活動ミーティング、10thInternational Outdoor Education Research Conferenceなど





ユニバーサルデザインの向上のあゆみ

開館当初(1996年度)

施設環境(点字設備、エレベーター、スロープ、手すり、キャンプ場の舗装、肢体不自由者の浴室設備)
肢体不自由児へ公用車で、活動エリアまでの移動と活動支援

2010年度

ヒッポキャンプ(野外活動用車いす)の導入
登山や農業体験などの活動支援開始

2012年度

ツリーイング(木登り)の車いすクライミングの支援開始

2020年度

IPad40台の導入と館内とキャンプ場エリアにWIFI整備
館内の360度カメラツアーサイトの公開

2022年度

配慮の必要な児童の調査書
カレーライスづくりアプリ(音声とイラスト)で活動支援

2023年度

HMD及び遠隔カメラを用いた遠隔体験の創出等に関する研究(大学、企業共同研究)
カートンドッグづくりアプリ(音声とアニメーション動画)で活動支援

2024年度

ボイストラ(翻訳アプリ)の活用 日本語で会話ができない外国人児童対応





美方高原自然の家

since 1996



OUTWARD BOUND
JAPAN

共生社会の形成にむけた
青少年育成のためのユニバーサルデザイン
そしてUDL(ユニバーサルデザインラーニング)の展開
将来の社会を担う子どもたちのために
一緒に考えてみましょう！



グループワーク 1

【設定】

- ・1グループ、7-8人程度 DXかUDの内、興味のあるキーワード
- ・9:50～10:50 たった60分しかありません。
- ・ワーク1～4の課題に取り組んでみましょう。
- ・各グループの発表順は、12月11日に一番近い誕生日の方順でお願いします。

課題

- ・ワーク1・・・グループ内で自己紹介(所属、誕生日など)をしましょう！
- ・ワーク2・・・所属施設や団体におけるDXの状況とユニバーサルデザインへの取り組みの現状
- ・ワーク3・・・DX推進やユニバーサルデザインに取り組む理想の青少年教育施設や青少年教育団体の姿
- ・ワーク4・・・理想像獲得のための資源と、その資源の調達に必要な要件とは！
- ・ワーク5・・・ワーク2～4について発表しますが、所要時間10分、全員が一言は発表するスタイルでお願いします。

グループワーク2

11:00～11:55

発表タイム 各グループ10分程度



この研修会のご縁を大切にして、
さまざまな支援者と共に、
課題を乗り越えられたら、
うれしいです。

ワークショップ等のご協力をいただき、ありがとうございました。